

バチルス・サブチリス由来のN-アセチルグルコサミン6-リン酸脱アセチル酵素、組換え

Cat. No. NATE-1541

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素学において、N-アセチルグルコサミン-6-リン酸脱アセチル化酵素（EC 3.5.1.25）は、次の化学反応を触媒する酵素です： N-アセチル-D-グルコサミン6-リン酸 + H₂O → D-グルコサミン6-リン酸 + アセテート。したがって、この酵素の二つの基質はN-アセチル-D-グルコサミン6-リン酸とH₂Oであり、その二つの生成物はD-グルコサミン6-リン酸とアセテートです。

別名 N-アセチル-D-グルコサミン-6-リン酸 アミドヒドロラーゼ; アセチルグルコサミンリン酸 デアセチル化酵素; アセチルアミノデオキシグルコースリン酸 アセチルヒドロラーゼ; 2-アセトアミド-2-デオキシ-D-グルコース-6-リン酸 アミドヒドロラーゼ; EC 3.5.1.25

製品情報

種	バチルス・サブチリス
由来	大腸菌
形態	35 mM NaHepesバッファー、pH 7.5、750 mM NaCl、200 mM イミダゾール、3.5 mM CaCl ₂ 、0.02% ナトリウムアジ化物および25% (v/v) グリセロール
EC番号	EC 3.5.1.25
CAS登録番号	9027-50-3
分子量	44.6 kDa
純度	>SDS-PAGEによる評価で90%
濃度	1 mg/mL
最適pH	8
最適温度	37 °C
特異性	GlcNAc-6-PのN-アセチル基がグルコサミン6-リン酸とアセテートを生成する

保管・発送情報

保存方法 この酵素は常温で出荷されますが、-20 °Cで保存する必要があります。